



田中館愛橋 (1856-1952)



写真：文化勲章受章時(昭和19年4月29日) 題字：氏名サインとも田中館愛橋自署より

田中館愛橋会 会報 53 号

(たなかだてあいきつ)岩手県二戸市出身の物理学者。日本の理科系諸学の基礎を築く。文化勲章。文化人切手。東大教授。貴族院議員。地球物理学の研究、度量衡法の確立、光学・電磁気学の単位の研究、航空学・気象学の普及などに功績。日本式ローマ字論者。

田中館愛橋博士顕彰銅像建立実行委員会発足

二戸市が生んだ世界的物理学者、田中館愛橋博士は東京帝国大学物理学科卒業後、助教授そして教授として教鞭をとり、日本物理学界の人材育成に当たると共に、重力、地磁気、火山、度量衡、航空学等に多大な業績を残されました。田中館愛橋会で長年にわたり博士の顕彰活動を続けてまいりましたが、活動の大きな成果の一つとして、シビックセンターの田中館愛橋記念科学館建設の大きな原動力となりました。

この度、郷土二戸が生んだ田中館愛橋博士の偉大な業績を顕彰すべく、博士の銅像建立のための実行委員会が結成され、広く皆さんの賛同をいただきながら募金活動に取り組むことになりました。銅像建立は田中館愛橋記念科学館・福田繁雄デザイン館の更なる充実と相まって、「歴史と文化の薫る町」二戸市の顔としてイメージアップと共に、地域おこし・街づくりの効果も期待されるところです。

つきましては、この趣旨をご理解いただき、特段のご高配とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

田中館愛橋会会長 工藤 武三
田中館愛橋博士顕彰銅像建立実行委員会委員長 久慈 浩

田中館愛橋博士顕彰銅像建立実行委員会 (氏名は項目毎五十音順)

実行委員長	久慈 浩			
副実行委員長	小保内 道彦	小松 務	工藤 武三	
顧問	阿部 荘介	小野寺 則雄	丹野 幸男	
理事	秋本 弘子	及川 正信	大澤 孫蔵	菅 陽悦
	國分 巖士郎	國分 弘	佐々木 裕子	生内 雄二
	菅原 孝平	田代 博之	館林 克典	田中 利見
	五日市 真一	千葉 謙治	富田 喜平司	中奥 孝宏
	中田 勇司	中村 茂	中村 誠	馬場 正弘
	山本 茂			
監事	黒澤 一史	中館 淳	松田 博明	
事務局	丹野 國輔	中村 誠		

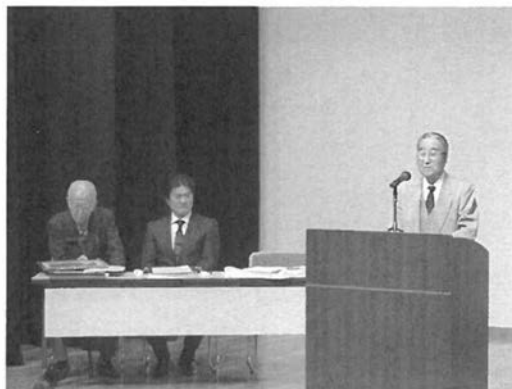
※このページは平成26年度総会時の様子を掲載しています。

感謝状贈呈式

愛橘会への多大なる貢献に対して

平成26年5月21日、田中館愛橘会総会におきましてこれまで当会に多大なる貢献をされた、次の3名の方々に感謝状と記念品をお贈りしました。

元会長 丹野 幸男 様
前会長 故 小保内岩吉 様
前事務局長 佐藤 綾夫 様。
本当にありがとうございました。

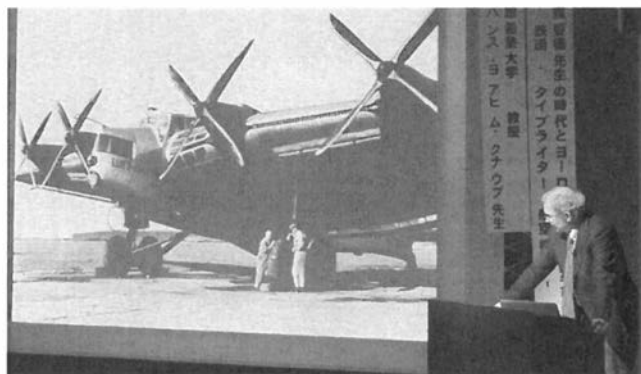


田中館先生の和歌をコーラスで

金田一歌の集いの皆さんにより、田中館先生の歌をご披露戴きました。もはや総会の定番行事ともいえる和歌の合唱を聴きながら、博士を偲びました。作曲は佐藤綾夫氏。



慶應義塾大学教授 ハンス・ヨアヒム・クナウプ先生の講演



前年の講演が大好評だったクナウプ先生が、本年も講演に来て下さいました。演題は、「田中館愛橘先生の時代とヨーロッパの技術革命の背景 - 鉄道・タイプライター・航空機 -」で、当時のヨーロッパと日本との技術革命の違いなどを語られました。

愛橋会総会 平成26年度決算承認、平成27年度事業について

平成27年5月21日二戸市シビックセンターホールに おきまして、田中館愛橋会総会が行われました。例年の決算報告、講演会の他に、昨年10月に 発足した「田中館愛橋博士顕彰銅像建立実行委員会」について、これまでの経緯や内容、これからの計画等に説明が行われました。銅像建立委員会の発足によりまして、いよいよ銅像建立が実現の運びとなりました。詳細や寄付等は 追って詳細にご報告の予定です。なお、建立委員会役員は、実行委員長、久慈浩氏。副実行委員長、小保内道彦氏・同 小松務氏・同 工藤武三氏。顧問 阿部荘介氏・同 小野寺則雄氏、そして、丹野幸男氏の他26名の役員と2名の事務局が決まり、活動中です。

平成26年度会計決算(単位:円)

収入の部	繰越金 157,111 会費 456,000 寄付金・雑収入 63,027	合計 676,138
支出の部	事務局費 120,000 総会費 74,287 手数料 9,030 通信費 29,722 会議,事務消耗品等 70,541	合計 523,580
差引残高	$676,138 - 523,580 = 152,558$ 繰越金 152,558円	

平成27年度会計予算(単位:円)

収入の部	会費 549,000 雑収入 33,000 予備費 152,558	合計 734,558
支出の部	事務局費 120,000 総会費 130,000 会報印刷 80,000 手数料 15,000 通信費 45,000 会議,事務消耗品等 295,000	合計 685,000
差引残高	$734,558 - 685,000 = 49,558$	

監査結果の報告の後、決算額が承認されました。なお、27年度の支出として、建立委員会助成の220,000については、当初の予算には含まれていませんでしたが、10月4日の理事会にて、発足が決定された「田中館愛橋博士顕彰銅像建立実行委員会」の発足時の諸費用のうち、愛橋会受持ち分として承認されたものです。

■ 顕彰銅像の建立, 募金活動が始まっています ■

平成26年10月4日「田中館愛橋博士顕彰銅像建立実行委員会」が発足し、実行委員長久慈浩氏の元、銅像建立場所の選定、制作者の選定、更には市や関連官庁への手続きを行うなど具体的な進展を見ました。

平成27年春からは、寄付活動も始まり、既に市内の企業様を中心に寄付を頂いており、今後は会員や個人へのお願いへと展開して参ります。なお、銅像の制作は、新制作協会会員(元東京造形大学教授)の田村史郎先生に決定。(田村氏のデッサンで、ポーズ案の一枚)



先生は戸町出身。既に契約のうえ制作にかかっています。銅像の完成は平成28年春の予定で、5月21日の除幕式予定、検討を重ねている所です。会員の皆様にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

■ 慶応大教授講演会 ハンス・ヨアヒム・クナウプ先生 ■



これまでの大好評を受け、平成26年度総会の目玉として、慶応義塾大学教授ハンス・ヨアヒム・クナウプ先生に講演をお願い致しました。本年は「田中館先生のベルリン体験 ～ 日記と出会い ～」というテーマで、博士の

ドイツでの活動を、日記から読み解いた誠に興味深い内容でした。博士がドイツ一の歯科医から治療を受けていた事や、当時日本の航空機発展を担っていた博士が、ドイツ飛行機メーカーと精力的に交流した事、その時既に70代半ばだが、なおエネルギーだった事を紹介。会場からは驚きの声が上がりました。

編集後記

会報53号の発行も大幅に遅れましたこと、重ねてお詫び申し上げます。今回も変則の発行になりましたことも合わせてお詫び申し上げます。銅像建立事業に伴い、会員のみなさまにご理解と寄付のご協力をお願いしなければならない大事な時期に情報提供が遅れご迷惑をお掛け致しました。現在は、愛橋会と建立実行委員会の事務局を兼ねており、寄付関連の事なども対応致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

平成27年12月現在
田中館愛橋会 会員数 176名
会報発行 年1回7月発行予定
発行所 田中館愛橋会
会長 工藤 武三
編集者 中村 誠
〒028-6103 二戸市石切所字荷渡6-2
二戸市シビックセンター内
TEL 0195-25-5411 FAX 0195-23-3548
振替口座 02350-8-18841
印刷所 沢倉印刷株式会社